

# BLUETREND XAとの 土地の不動産連携



BLUETREND XA との  
土地の不動産連携の操作  
を簡単なサンプルを用いて  
解説します。

※解説内容がオプションプログラムの  
説明である場合があります。  
ご了承ください。

TREND REG/C

## 土地の不動産情報連携

---

1. BLUETREND XA との土地の不動産情報連携	1
2. BLUETREND XA の新規現場作成	2
2-1 BLUETREND XA の新規現場を作成する	2
3. 新規現場の更新	5
3-1 地積の測量方法に関する情報を出力する	5
3-2 調査素図で取り込めるEMFファイルを出力する	8
3-3 調査素図で取り込める画像ファイルを出力する	10
3-4 現場データを保存する	11
3-5 BLUETREND XA を終了する	12
4. 不動産情報の更新	13
4-1 地番情報と接続する	15
4-2 地番データ(申請地)を編集する	19
4-3 地番データ(隣接地)を編集する	27
5. 調査素図の取り込み	32
5-1 調査素図を取り込む	32
5-2 調査報告書の調査素図を入力する	33
6. 測量情報の取り込み	35
6-1 調査報告書を開く	35
6-2 測量情報を入力する	36

# 1 BLUETREND XA との 土地の不動産情報連携

TRENDREGIC の受託データから、BLUETRENDXA の新規現場を作成できます。  
また、BLUETRENDXA で作業・更新した場合も、TRENDREGIC へデータ連携が可能です。  
本書では、下記の流れに従って、TRENDREGIC の受託データから、BLUETRENDXA の新規現場を作成し、  
不動産情報の更新、不動産調査報告書の連携を行う操作を解説します。



# 2 BLUETREND XA の新規現場作成

受託データの[不動産管理]から、BLUETREND XA の新規現場を作成します。

## 2-1 BLUETREND XA の新規現場を作成する

本書では、作成済みの受託データを選択して、BLUETREND XA の新規現場を作成します。



1 受託データを選択します。

2 [データ編集]をクリックします。



3 [不動産の管理]をクリックします。

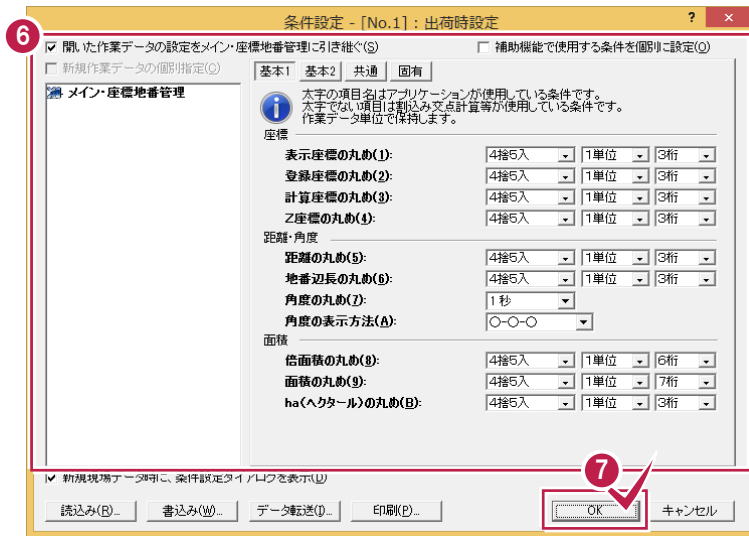


4 [BLUETREND XA] をクリックします。

5 [新規に現場を作成します] をクリックします。

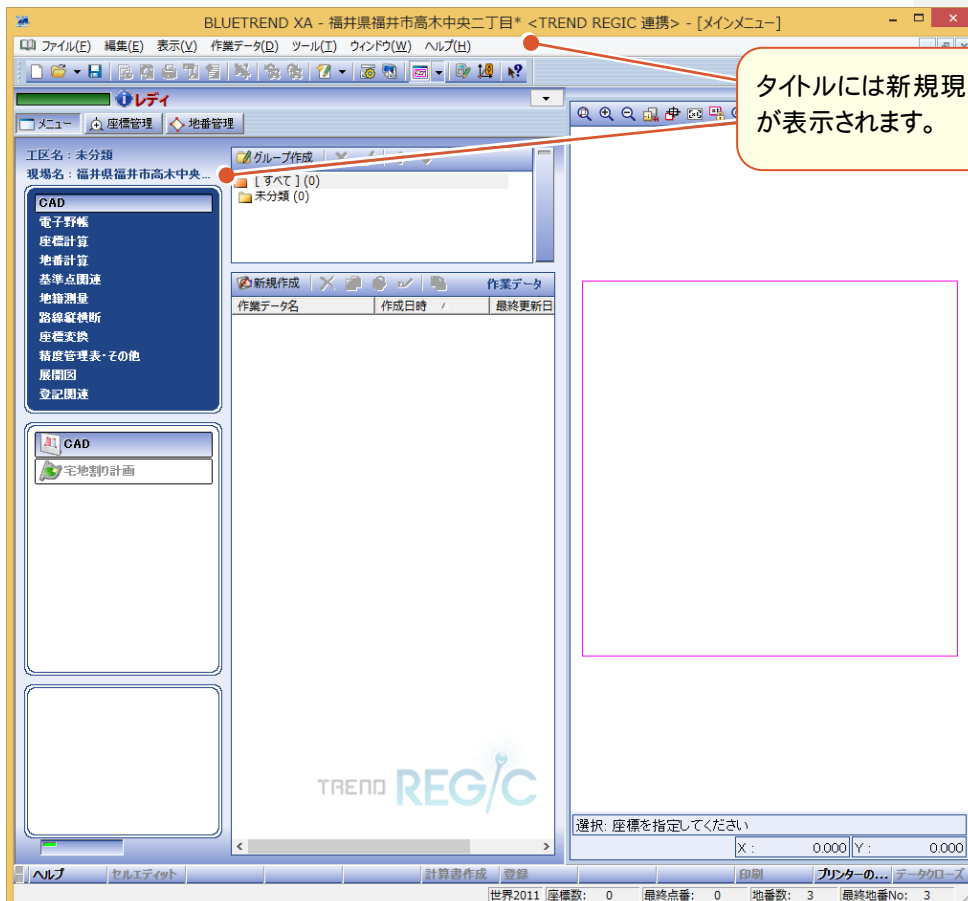


[BLUETREND XA] - [既存の現場を選択します] で、BLUETREND XA の既存現場を開いて関連付けることもできます。



6 BLUETREND XA が起動して、新規現場が作成されます。  
[条件設定] を設定します。

7 [OK] をクリックします。



タイトルには新規現場名 (TREND REGICの所在) が表示されます。



## TREND REGIC → BLUETREND XA の連携項目

[新規に現場を作成します]で BLUETREND XA を起動して新規に現場を作成する場合は、TREND REGIC の以下の項目が連携します。

BLUETREND XA 2014 以降の場合は、BLUETREND XA 2013 より連携される項目が増えます。

BLUETREND XA 2014 以降の場合の連携する項目には(※BLUETREND XA 2014 以降)と記載してあります。

入力する文字数制限の違いにより、BLUETREND XA へ連携されたときに、文字列が切れたり空欄になったりする場合があります。

TREND REGIC			BLUETREND XA	
受託データ情報	受付日時	→	工期着手日	現場情報
	担当調査士	→	担当者	
	ご依頼内容-申請地所在	→	現場名	
	所有者の情報-所有者氏名	→	5名までは所有者 6名以降は共有者	
	ご依頼人情報 -お名前 (法人、公共機関名)	→	測量依頼者	
不動産の管理 (地番データ)	不動産番号	→	不動産番号	地番管理 (地番情報)
	所在	→	都道府県、市町村 (所在1、2)	
	地番	→	地番名	
	公簿地目	→	地目(公簿)(地目2)	
	現況地目	→	地目(現況)(地目1)	
	公簿面積	→	公簿面積	
	所有者氏名	→	所有者-名前	
	所有者氏名(6名以降)	→	共有者-名前 (※BLUETREND XA 2014R1 以降)	
	所有者住所	→	所有者-住所	
	所有者住所(6名以降)	→	共有者-住所 (※BLUETREND XA 2014R1 以降)	

# 3 新規現場の更新

BLUETRENDXA で、座標・地番を登録して、下記の操作を行います。

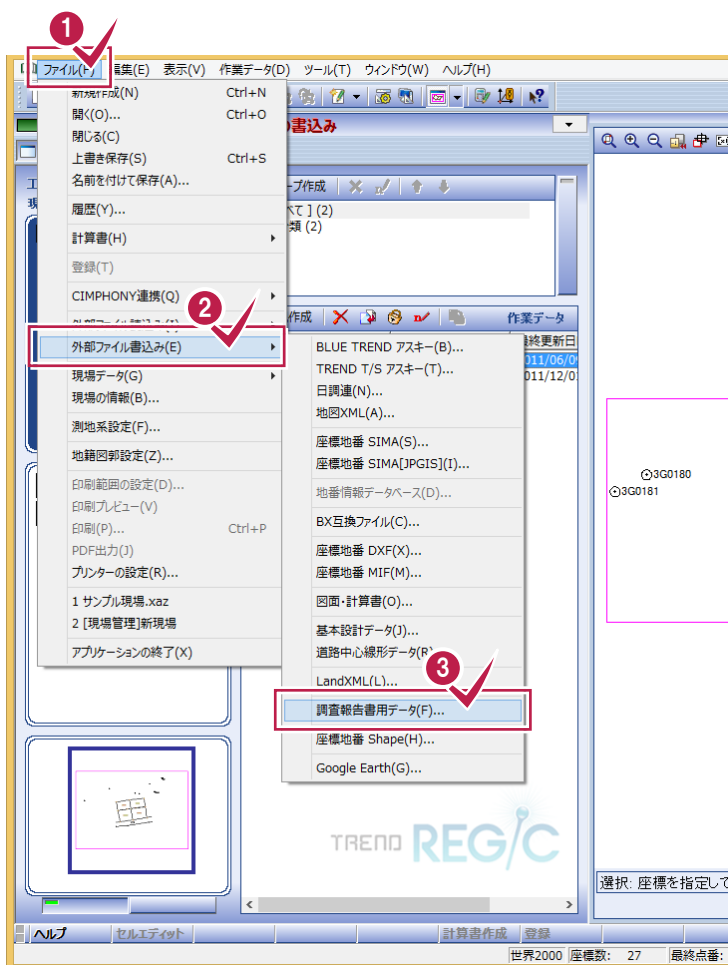
- 地積を計算する
- 地積測量図などを作成する
- 調査報告書用データ(地積の測量方法に関する情報)を出力する
- 調査素図(EMFファイル・画像)を出力する

本書では、「調査報告書用データ(地積の測量方法に関する情報)を出力する」と「調査素図(EMFファイル・画像)を出力する」の操作を解説します。

## 3-1 地積の測量方法に関する情報を出力する

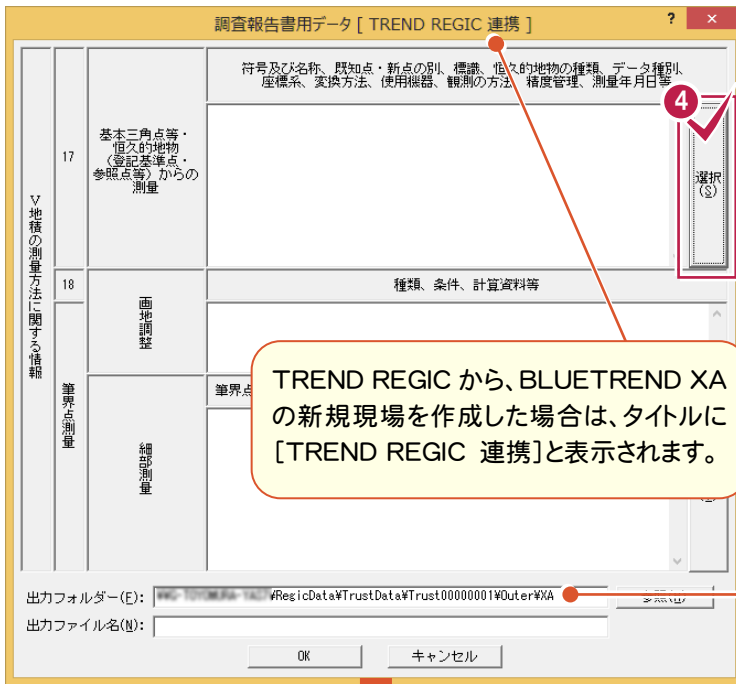
BLUETRENDXA の座標管理、トラバース計算の放射観測のデータより、TRENDREGIC で取り込めるデータを出力します。出力するデータは、ファイル情報(\*.ini)と詳細データ(\*.txt)の2つです。

データのやりとりは、この2ファイルが必要です。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [外部ファイル書込み]をクリックします。
- 3 [調査報告書用データ]をクリックします。

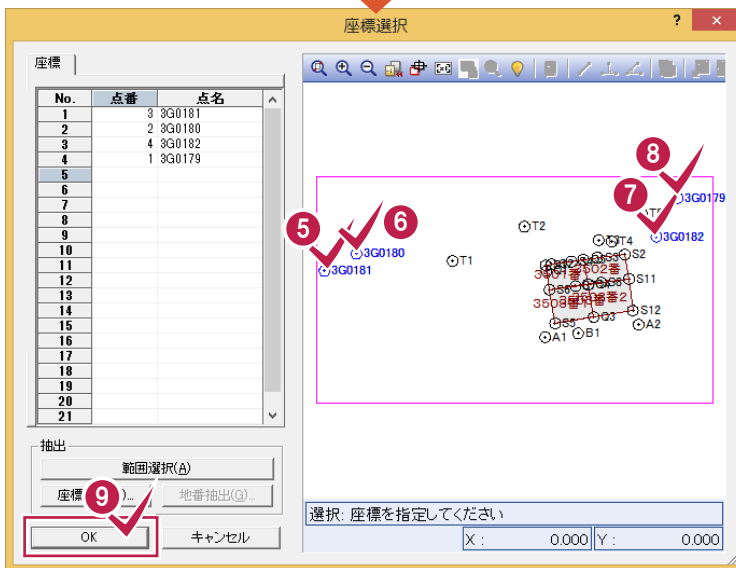




4 [基本三角点等・恒久的地物 登記基準点・参照点等)からの測量]の[選択]をクリックします。

TREND REGIC から、BLUETREND XA の新規現場を作成した場合は、タイトルに [TREND REGIC 連携] と表示されます。

TRENDREGIC から、BLUETRENDXA の新規現場を作成したときは、[出力フォルダー] には、TREND REGIC の調査報告書の読み込み先が表示されます。



5 6 7 8

現場プロットで観測に利用した既知点をクリックします。

9 [OK]をクリックします。

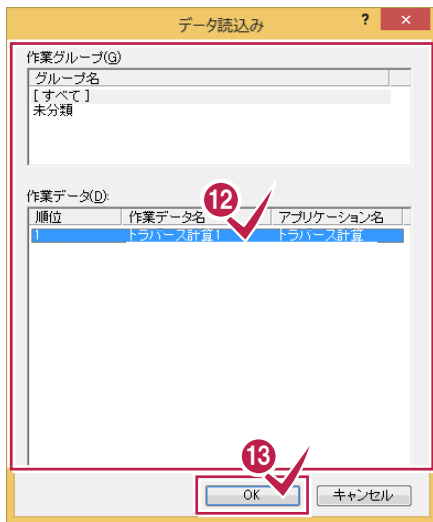
指定した既知点の「点種 点名(X座標、Y座標) 杭種」が出力されます。1測点1行のデータになります。座標値は小数点以下3桁(4桁目を四捨五入)固定です。



10 [画地調整]に必要な文語を入力します。

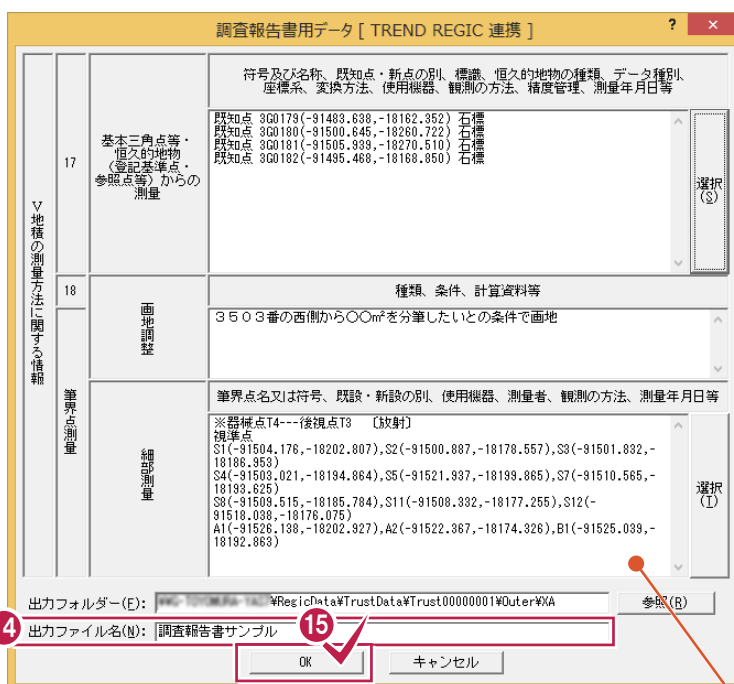
11 [細部測量]の横の[選択]をクリックします。





12 画地の境界点を視準点とする[トラバース計算]の作業データを選択します。

13 [OK]をクリックします。



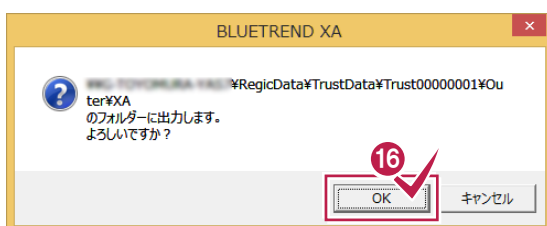
14 [出力ファイル名]を入力します。

15 [OK]をクリックします。



放射観測データが以下のような形式で出力されます。

- ・※器械点「器械点名」---後視点「後視点名」（放射）
- ・視準点
- ・「視準点名(X座標、Y座標)」、「視準点名(X座標、Y座標)」, 座標値は小数点以下3桁(4桁目を四捨五入)固定です。後視点が方向角のみの場合、方向角の数値文字列を出力します。

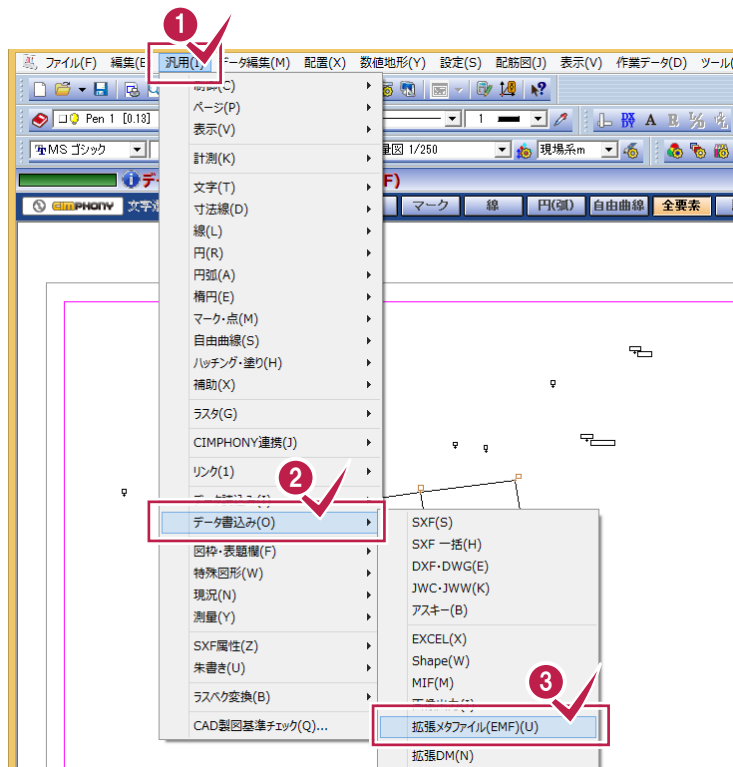


16 [OK]をクリックします。

## 3-2

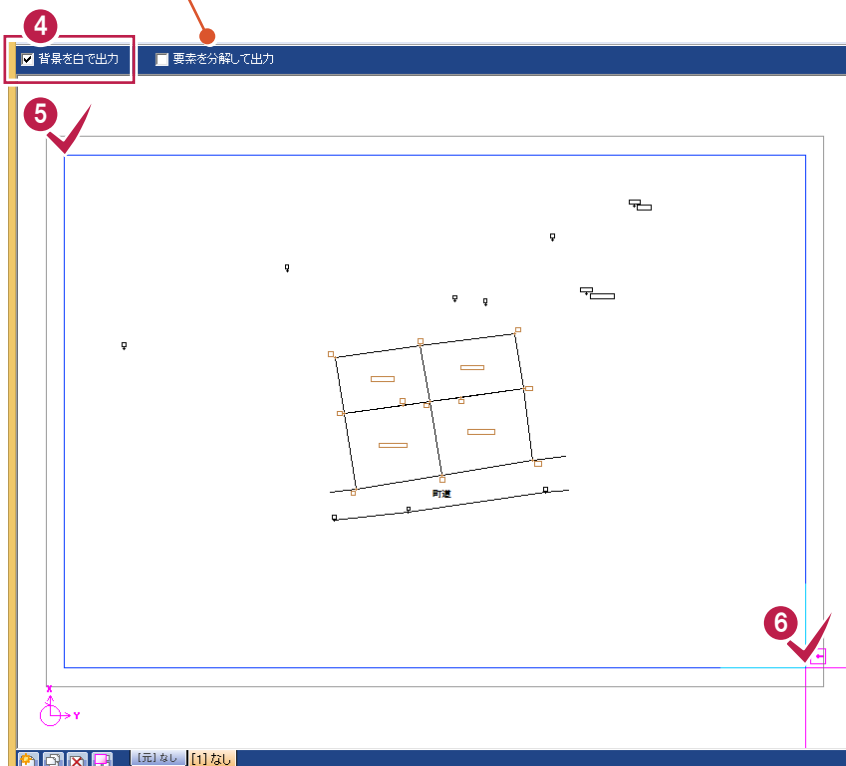
# 調査素図で取り込めるEMFファイルを出力する

BLUETRENDXAのCADのデータより、TRENDREGICで取り込めるEMFファイルを出力します。  
(ただし、ラスタデータは出力できません。)



- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [データ書込み]をクリックします。
- 3 [拡張メタファイル(EMF)]をクリックします。

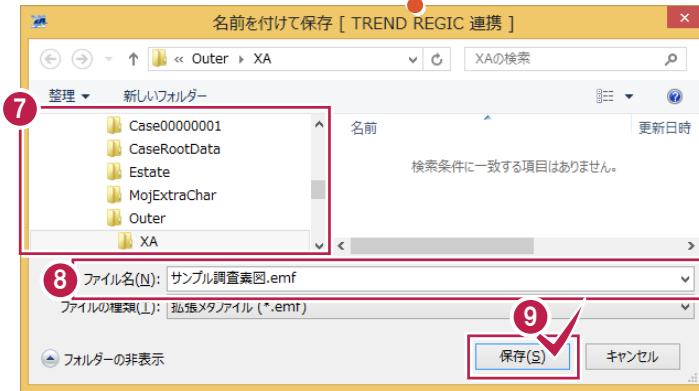
要素を分解して出力したい場合は、  
[要素を分解して出力]のチェックを  
オンにします。分解して出力した場  
合、データ量は大きくなります。



- 4 背景を白で出力するときは、  
[背景を白で出力]のチェック  
がオンになっていることを確認  
します。
- 5 6  
出力する矩形範囲の2点をクリック  
します。



TREND REGIC から、BLUETREND XA  
の新規現場を作成したときは、タイトルに  
[TREND REGIC 連携]と表示されます。



7 ファイルを出力する場所を確認します。

8 ファイル名を入力します。

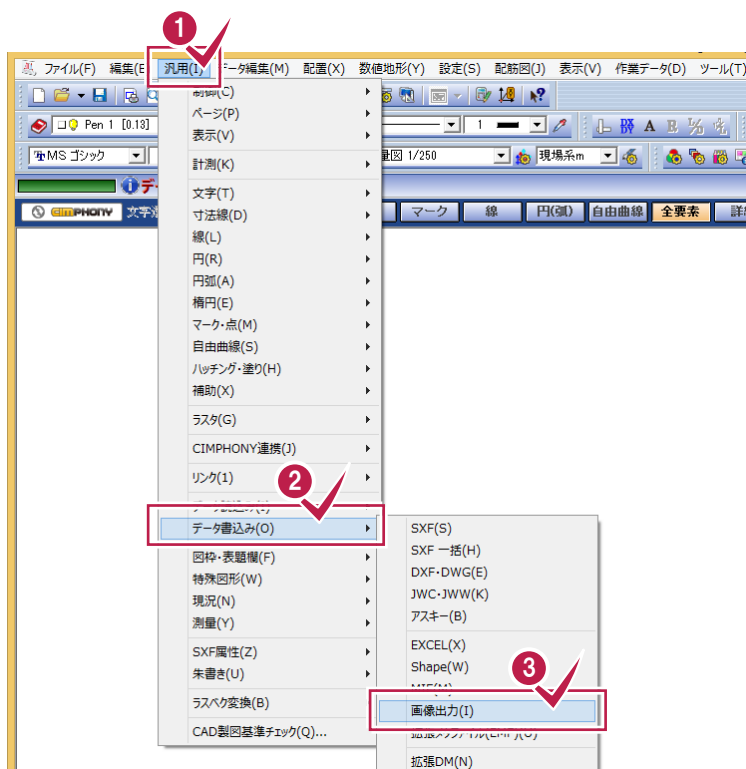
9 [保存]をクリックします。

10 メッセージを確認して、[OK]をクリック  
します。

### 3-3

## 調査素図で取り込める画像ファイルを出力する

BLUETREND XAのCADのデータより、TRENDREGICで取り込める画像ファイルを出力します。



- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [データ書込み]をクリックします。
- 3 [画像出力]をクリックします。

TREND REGIC から、BLUETREND XA の新規現場を作成したときは、タイトルに [TREND REGIC 連携] と表示されます。



- 4 出力形式を設定します。
- 5 出力ファイル名を設定します。
- 6 ファイル形式、解像度を設定します。
- 7 出力フォルダーを確認します。
- 8 [OK]をクリックします。

TREND REGIC から、BLUETREND XA の新規現場を作成したときは、TREND REGIC の調査素図の読み込み先が表示されます。

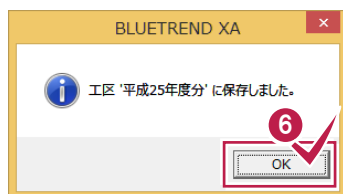
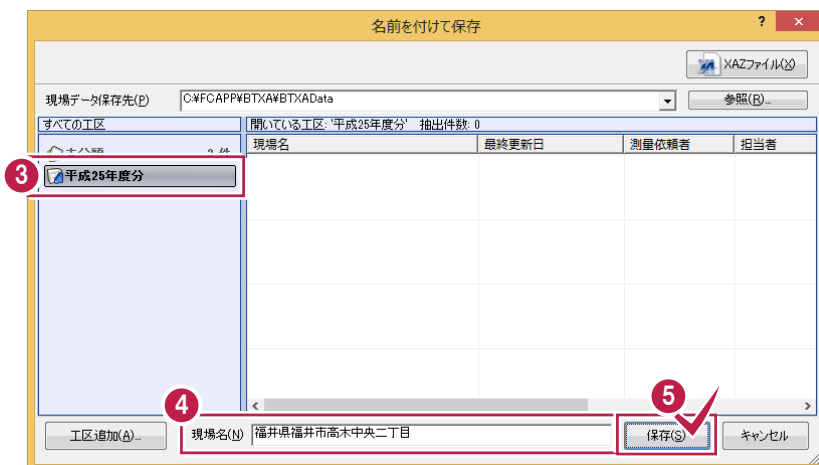
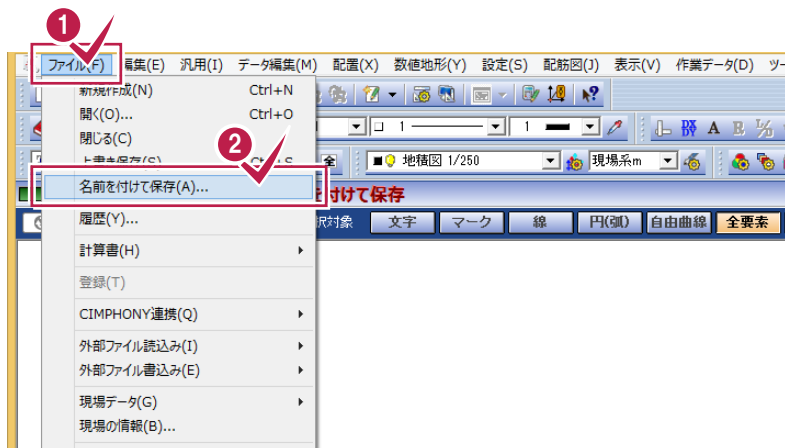


- 9 [OK]をクリックします。

## 3-4

# 現場データを保存する

現場データを保存します。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]をクリックします。

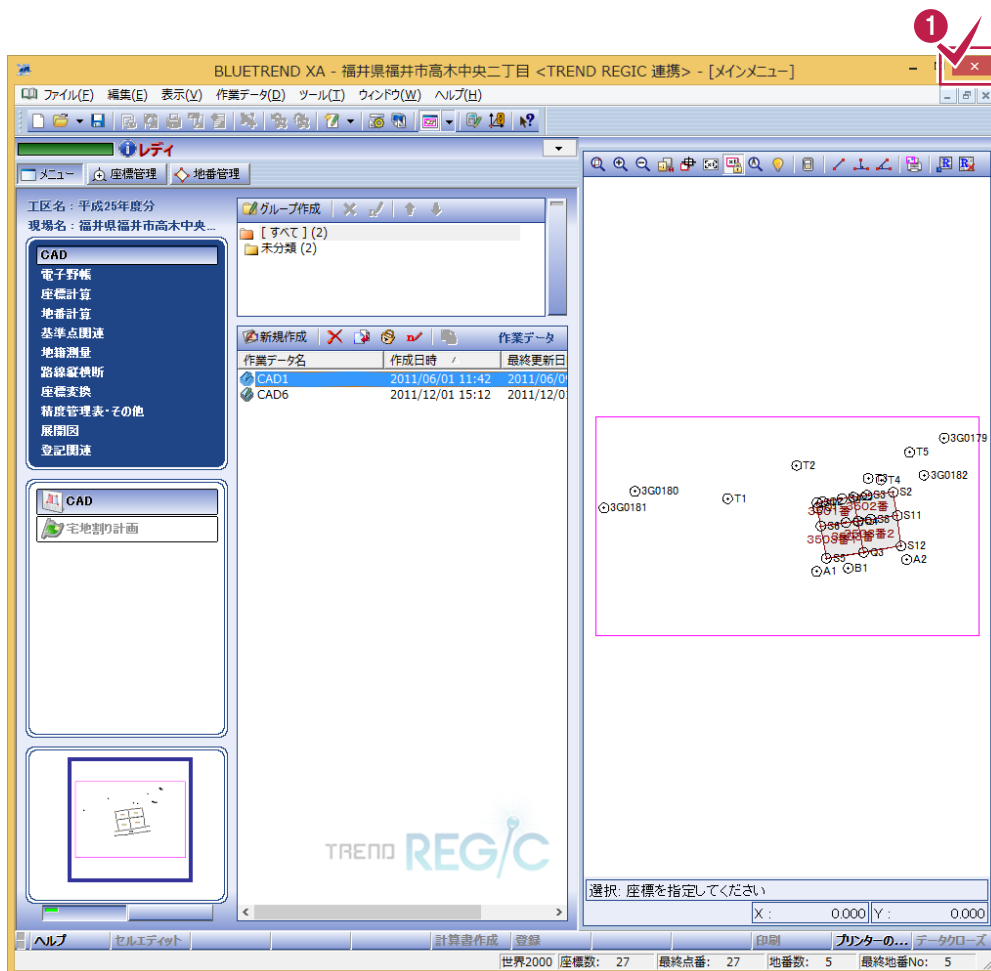
- 3 [工区]を指定します。
- 4 [現場名]を確認します。  
現場名は、TREND REGIC の所在  
がデフォルトで入ります。
- 5 [保存]をクリックします。

- 6 [OK]をクリックします。

## 3-5

# BLUETREND XA を終了する

BLUETREND XAを終了します。



- 1 [X]をクリックして、BLUETREND XAを終了します。

# 4 不動産情報の更新

BLUETRENDXA の現場より、不動産情報を更新します。  
本書では、BLUETRENDXA から取り込まれたデータを確認して、編集します。



## BLUETREND XA の地番管理 → TREND REGIC の連携項目

BLUETRENDXAの現場から不動産情報を更新、追加する場合は、BLUETRENDXAの以下の項目が連携します。  
[連携データ接続][連携データ更新]と[連携データ追加]では連携項目が異なります。  
BLUETREND XA 2014 以降の場合は、BLUETREND XA 2013 より連携される項目が増えます。  
BLUETREND XA 2014 以降の場合に連携する項目には(※BLUETREND XA 2014 以降)と記載してあります。  
BLUETREND XA 2015 以降の場合に連携する項目には(※BLUETREND XA 2015 以降)と記載してあります。  
BLUETREND XA 2015R1 以降の場合に連携する項目には(※BLUETREND XA 2015R1 以降)と記載してあります。

### 【[連携データ接続][連携データ更新]の連携項目】

BLUETREND XA			TREND REGIC	
地番管理 (地番情報)	地目(公簿)(地目2)	→	公簿地目	不動産の管理 (地番情報)
	地目(現況)(地目1)	→	現況地目	
	公簿面積	→	公簿面積	
	座標法面積	→	現況地積	
	三斜法面積(三斜が未計算 のときは出力しない)	→	現況地積	
	倍横距法面積(地番が閉合 していないときは出力しない)	→	現況地積	
	所有者-名前	→	所有者氏名	
	共有者-名前 (※BLUETREND XA 2014R1以降)	→	所有者氏名	
	所有者-住所	→	所有者住所	
	共有者-住所 (※BLUETREND XA 2014R1以降)	→	所有者住所	
地番管理 (地番情報)	リンク-写真 (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像データ	写真管理 (地番データ)
	リンク-写真のファイル名 (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像の摘要1/摘要2/ 備考 ※設定条件で指定	

BLUETREND XA			TREND REGIC	
座標管理 (測点情報) ※地番の構成 点	リンク-写真 (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像データ	写真管理 (地番データ)
	リンク-写真のファイル名 (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像の摘要1/摘要2/ 備考 ※設定条件で指定	
	リンク-写真の種類(近景/ 遠景/要図) (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像の摘要1/摘要2/ 備考 ※設定条件で指定	
	点名(リンク-写真の連携時) (※BLUETREND XA 2015以降)	→	画像の摘要1/摘要2/ 備考 ※設定条件で指定	

【[連携データ追加]の連携項目】

BLUETREND XA			TREND REGIC	
地番管理 (地番情報)	地目(公簿)(地目2)	→	公簿地目	不動産の管理 (地番情報)
	地目(現況)(地目1)	→	現況地目	
	公簿面積	→	公簿面積	
	座標法面積	→	現況地積	
	三斜法面積(三斜が未計算 のときは出力しない)	→	現況地積	
	倍横距法面積(地番が閉合 していないときは出力しない)	→	現況地積	
	所有者-名前	→	所有者氏名	
	共有者-名前 (※BLUETREND XA 2014R1以降)	→	所有者氏名	
	所有者-住所	→	所有者住所	
	共有者-住所 (※BLUETREND XA 2014R1以降)	→	所有者住所	



# 4-1

## 地番情報と接続する

BLUETREND XA の地番情報と接続します。

### 3503番 1、3503番 2を地番情報と接続する



BLUETREND XA の現場が関連付けされている場合は、「XA連携中 現場名:」と表示されます。現場名をクリックすると、BLUETREND XA が起動して、現場が開きます。

1 地番データ(ここでは3503番 1)を選択します。

2 [連携データ接続]をクリックします。



3 接続する地番情報を選択します。

4 [選択された地番情報と接続します]をクリックします。



5 更新するデータを選択します。

6 [連携データを更新します]をクリックします。





7 地番データ(ここでは3503番2)を選択します。

8 [連携データ接続]をクリックします。

選択した地番情報より地番データが追加され、[接続]に[XA]のマークが表示されます。



9 接続する地番情報を選択します。

10 [選択された地番情報と接続します]をクリックします。



11 更新するデータを選択します。

12 [連携データを更新します]をクリックします。





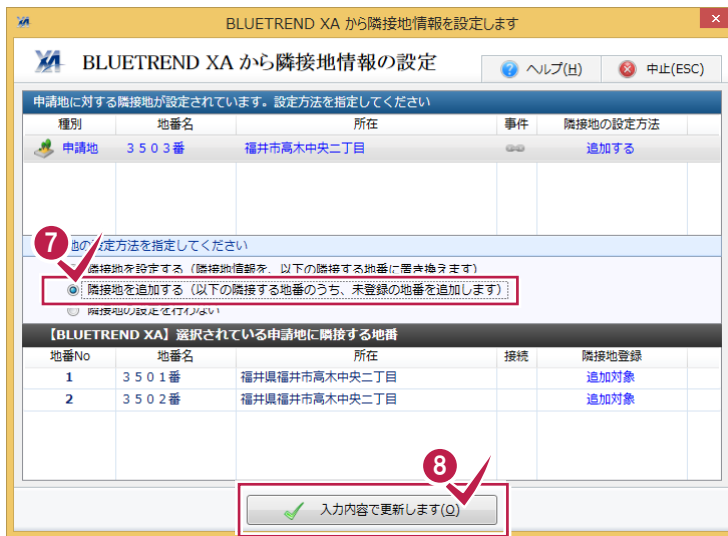
## 3503番を地番情報と接続する



- 1 地番データ(ここでは3503番)を選択します。
- 2 [連携データ接続]をクリックします。



- 3 接続する地番情報を選択します。
- 4 [選択された地番情報と接続します]をクリックします。



隣接地が追加されます。

選択した地番情報より地番データが追加され、  
[接続]に[XA]のマークが表示されます。

5 更新するデータを選択します。

6 [連携データを更新します]をクリックします。

7 [隣接地を追加する(以下の隣接する地番のうち、未登録の地番を追加します)]をクリックします。

8 [入力内容で更新します]をクリックします。

## 4-2

# 地番データ(申請地)を編集する

BLUETREND XA から取り込まれたデータを確認して、地番データ(申請地)を編集します。

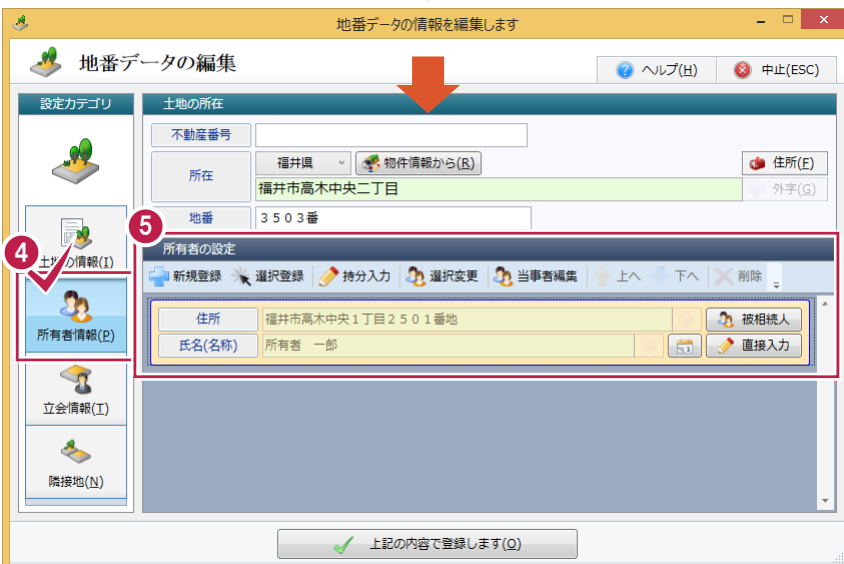
### 3503番を編集する



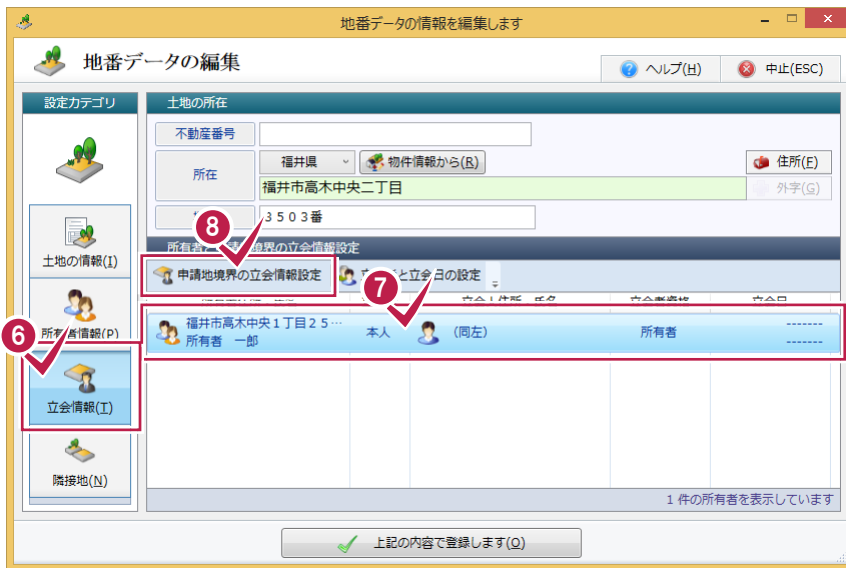
- 1 「3503番」を選択します。
- 2 [情報編集]をクリックします。



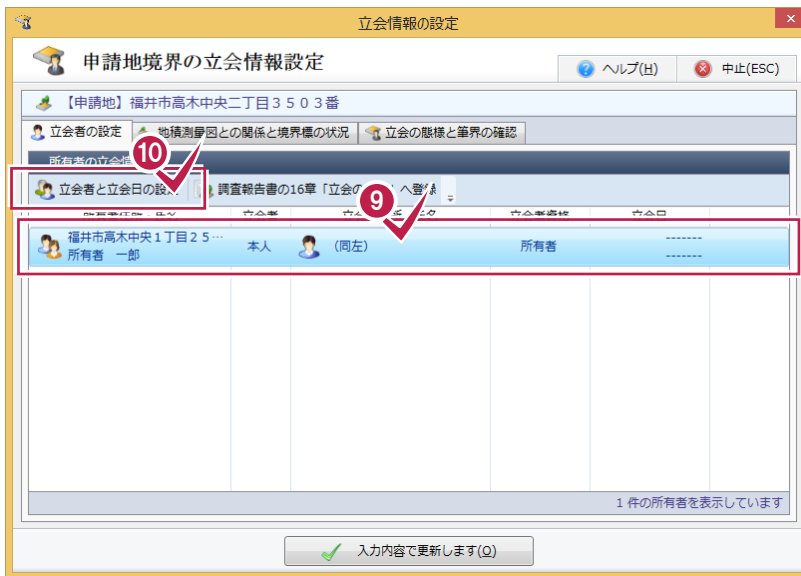
- 3 土地の情報を編集します。



- 4 [所有者情報]をクリックします。
- 5 所有者の情報を確認します。



- 6 [立会情報]をクリックします。
- 7 立会人を選択します。
- 8 [申請地境界の立会情報設定]をクリックします。



- 9 立会人を選択します。
- 10 [立会者と立会日の設定]をクリックします。



- 11 立会者の情報を設定します。
- 12 [入力内容で更新します]をクリックします。



立会情報の設定

申請地境界の立会情報設定

【申請地】 福井市高木中央二丁目3503番

立会者の設定 | 地積測量図との関係と境界標の状況 | 立会の態様と筆界の確認

所有者の立会情報設定

立会者と立会日の設定 **13** 調査報告書の16章「立会の態様」へ登録

所有者住所・氏名	本人	同居者	立会者資格	立会日
福井市高木中央1丁目25...	本人	(同左)	所有者	-----
所有者 一部				

1件の所有者を表示しています

入力内容で更新します(Q)

**13** [調査報告書の16章「立会の態様」へ登録]をクリックします。

立会情報の設定

申請地境界の立会情報設定

【申請地】 福井市高木中央二丁目3503番

立会者の設定 | **14** 地積測量図との関係と境界標の状況 | 立会の態様と筆界の確認

**15** 申請地・隣接地の別及び地番

申請地・隣接地の別及び地番	15	16
<input checked="" type="checkbox"/> 申請地 <input type="checkbox"/> 隣接地	既提出の地積測量図との関係	境界標の状況
地番 3503	作成年月日	<input checked="" type="checkbox"/> 既存境界標 ( 5 )点
	現地と既提出地積測量図との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 新設境界標 ( 1 )点

特記事項

入力内容で更新します(Q)

**14** [地積測量図との関係と境界標の状況]をクリックします。

**15** 「15 既提出の地積測量図との関係」「16 境界標の状況」を設定します。

立会情報の設定

申請地境界の立会情報設定

【申請地】 福井市高木中央二丁目3503番


立会者の設定 | 地積測量図との関係と境界標の状況 | **16** 立会の態様と筆界の確認

申請地・隣接地の別及び地番	16	16
<input checked="" type="checkbox"/> 申請地 <input type="checkbox"/> 隣接地	立会の態様	筆界確認の方法
地番 3503	立会者 所有者 一部	<b>18</b> <input checked="" type="checkbox"/> 面識あり
	同居者 福井市高木中央1丁目3503番	<input checked="" type="checkbox"/> 地にて面談、運転免許証を確認
	同居資格 所有者	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅を訪問して確認
	本人確認方法 <b>17</b>	<input type="checkbox"/> 会社を訪問して確認
	<input type="checkbox"/> 確認	<input type="checkbox"/> I 03に記載
	<input type="checkbox"/> 立会	

入力内容で更新します(Q)

**16** [立会の態様と筆界の確認]をクリックします。

**17** 入力例では、[本人確認方法]をクリックします。

**18** 入力する内容の  をクリックします。

立会情報の設定

申請地境界の立会情報設定

【申請地】 福井市高木中央二丁目3503番

立会者の設定 地積測量図との関係と境界線の状況 立会の態様と筆界の確認

申請地、隣接地の別及び地番	立会の態様	筆界確認の方法
<input checked="" type="checkbox"/> 申請地 <input type="checkbox"/> 隣接地 地番 3503	所有者 一部 立会者 同住所 福井市高木中央1丁目3501番 同資格 所有者 本人確認方法 談、運転免許証を確認	16 【本人確認方法】 <input type="checkbox"/> 面談あり <input checked="" type="checkbox"/> 現地にて面談、運転免許証を確認 <input type="checkbox"/> 自宅を訪問して確認 <input type="checkbox"/> 会社を訪問して確認 <input type="checkbox"/> I03に記載

19 入力内容で更新します(Q)



地番データの編集

地番データの情報を編集します

設定カテゴリ

土地の所在

不動産番号

所在 福井県 物件情報から(R) 住所(E)

福井市高木中央二丁目 外字(G)

地番 3503番

隣接地と境界の立会情報

隣接地の登録 境界の立会情報 上へ 下へ 隣接地から除外

地番名	所在	所有者住所・氏名	立会
3501番	福井市高木中央二丁目		
3502番	福井市高木中央二丁目		

20 隣接地(N)

21 上記の内容で登録します(Q)

2件の隣接地を表示しています

19 [入力内容で更新します]をクリックします。

20 [隣接地]をクリックします。

21 隣接地を確認して、[上記の内容で登録します]をクリックします。



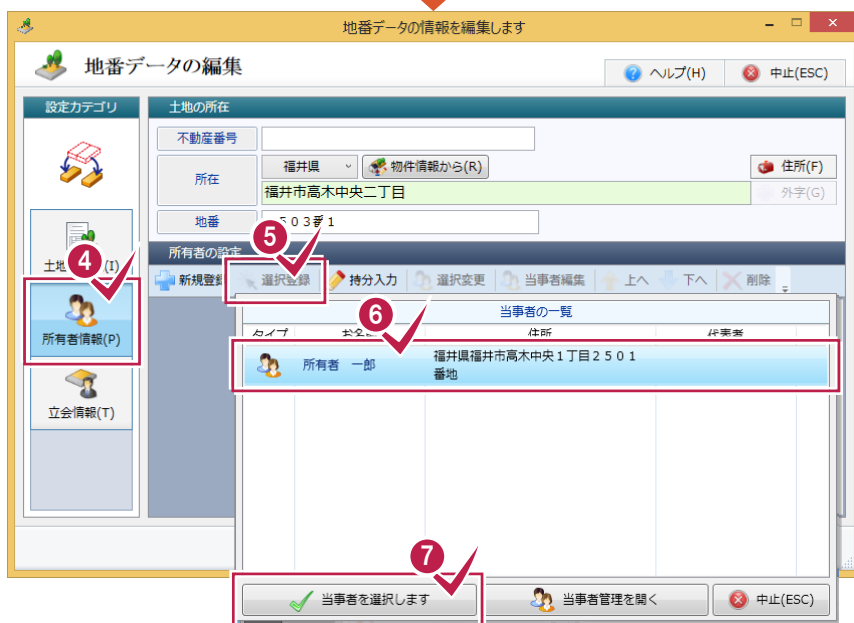
## 3503番1を編集する



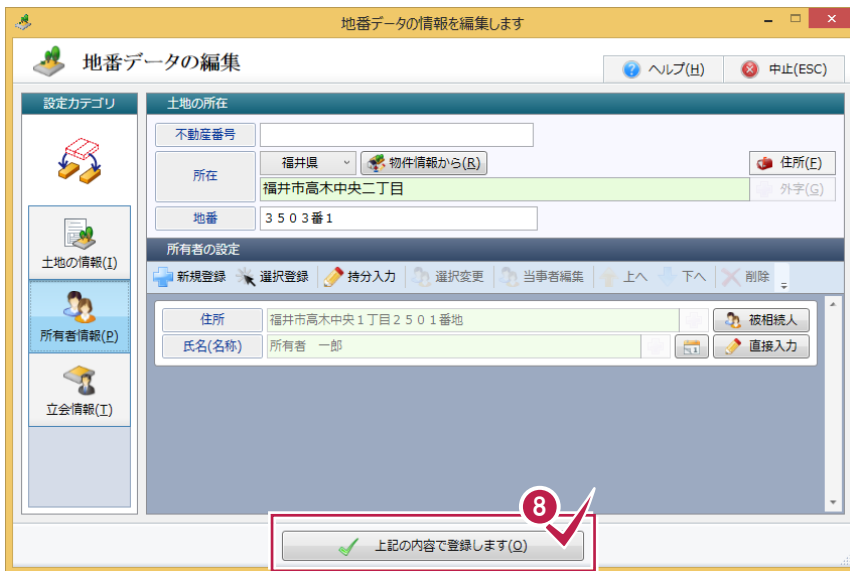
- 1 「3503番1」を選択します。
- 2 [情報編集]をクリックします。



- 3 所在、地番、土地の情報を編集します。



- 4 [所有者情報]をクリックします。
- 5 [選択登録]をクリックします。
- 6 「所有者一郎」を選択します。
- 7 [当事者を選択します]をクリックします。



8 [上記の内容で登録します] をクリックします。

## 3503番2を編集する

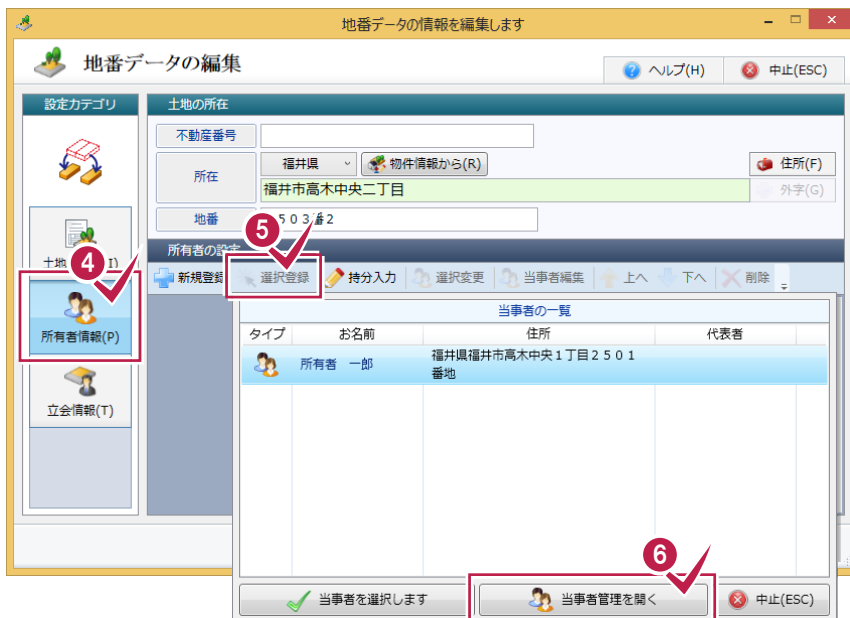


1 「3503番2」を選択します。

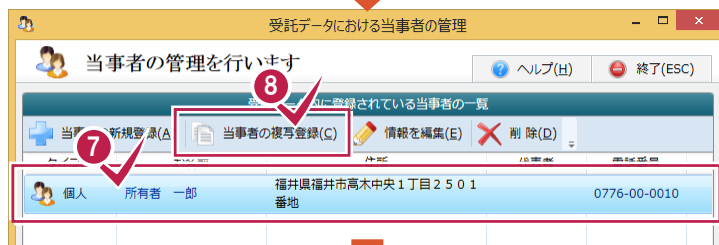
2 「情報編集」をクリックします。



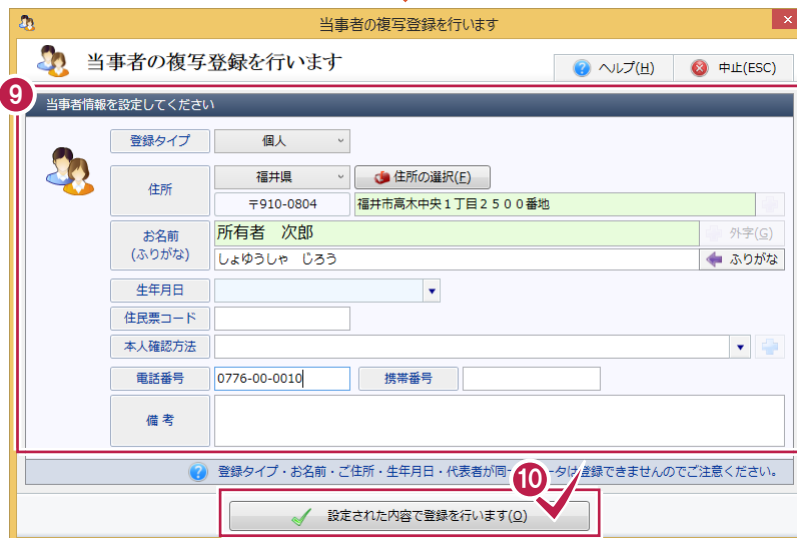
3 所在、地番、土地の情報を編集します。



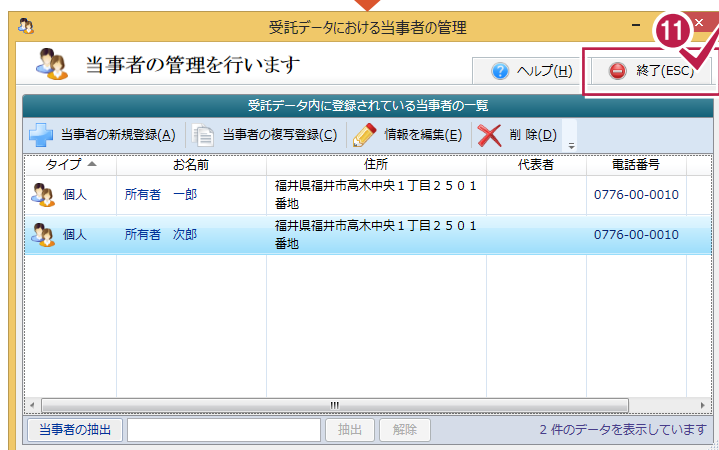
- 4 [所有者情報]をクリックします。
- 5 [選択登録]をクリックします。
- 6 [当事者管理を開く]をクリックします。



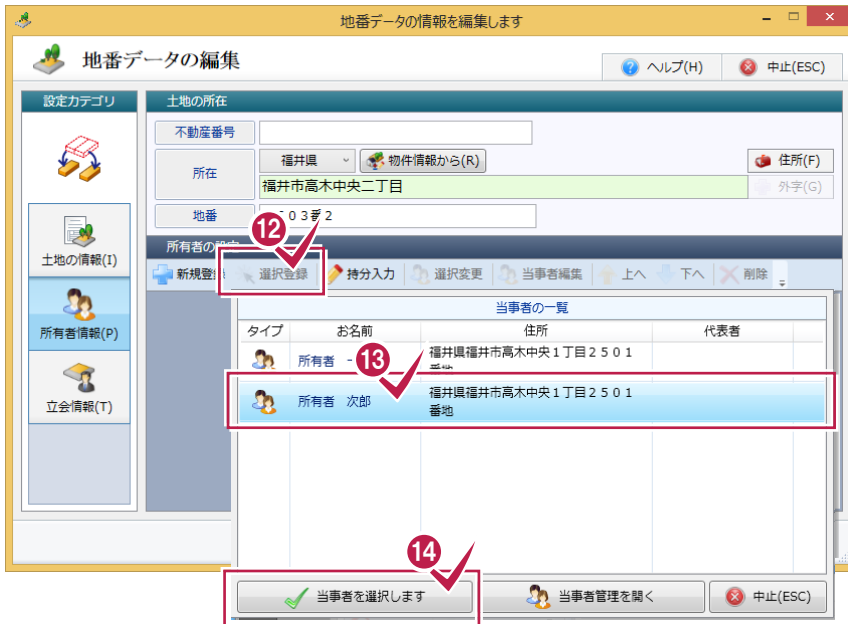
- 7 複写する当事者を選択します。
- 8 [当事者の複写登録]をクリックします。



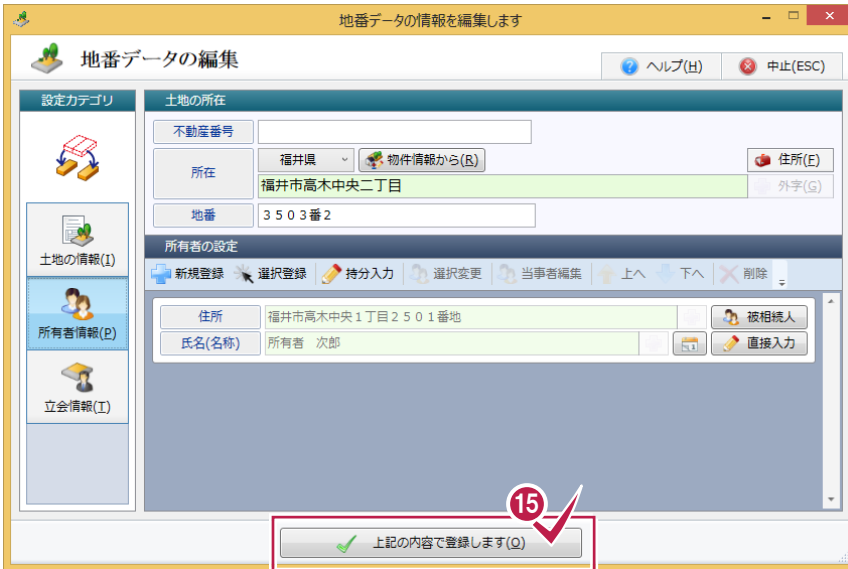
- 9 お名前、住所、電話番号などを変更します。
- 10 [設定された内容で登録を行います]をクリックします。



- 11 [終了]をクリックします。



- 12 [選択登録]をクリックします。
- 13 登録した「所有者次郎」を選択します。
- 14 [当事者を選択します]をクリックします。



- 15 [上記の内容で登録します]をクリックします。

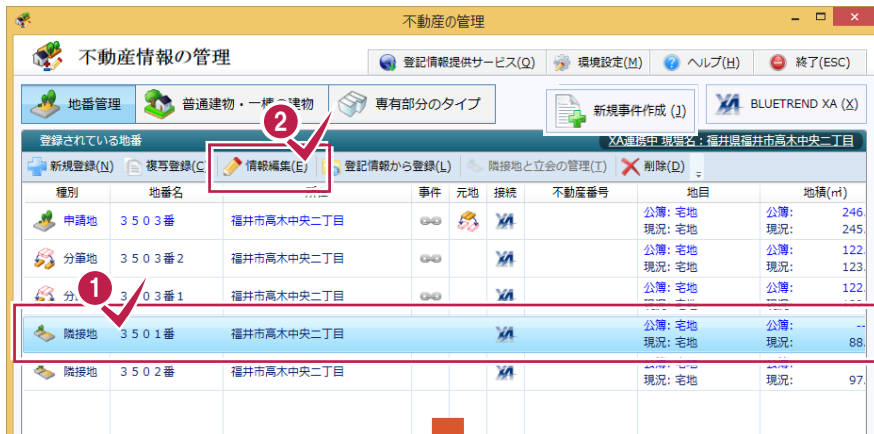
# 4-3

## 地番データ(隣接地)を編集する

地番データ(隣接地)を登録します。

入力例では、BLUETRENDXA から取り込んだ隣接地3501と3502を編集する操作を解説します。

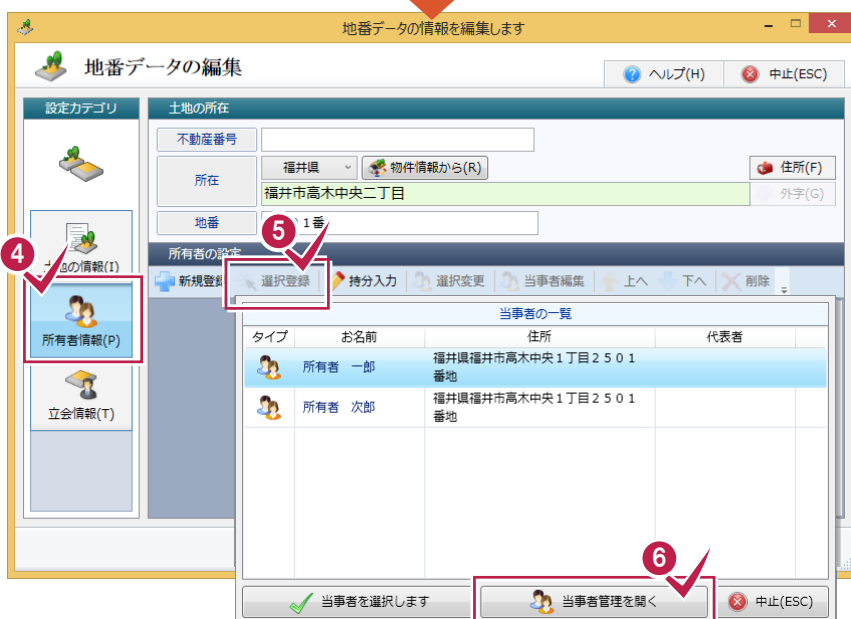
### 3501番を編集する



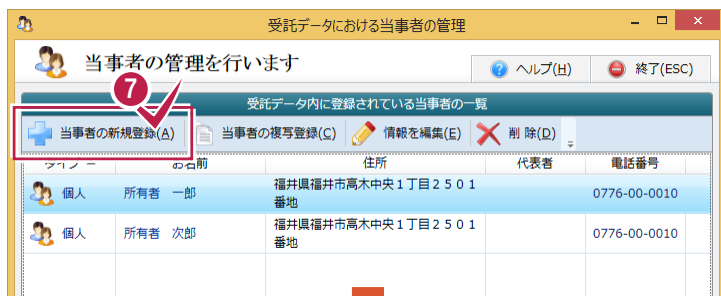
- 1 「3501番」を選択します。
- 2 「情報編集」をクリックします。



- 3 土地の情報を編集します。



- 4 「所有者情報」をクリックします。
- 5 「選択登録」をクリックします。
- 6 「当事者管理を開く」をクリックします。

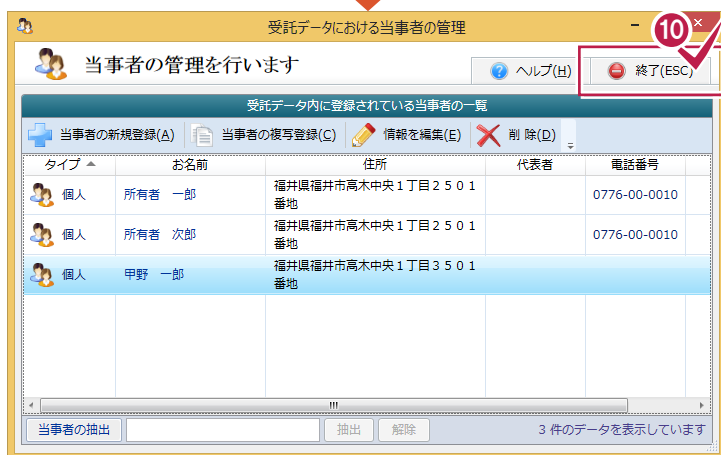


7 [当事者の新規登録]をクリックします。

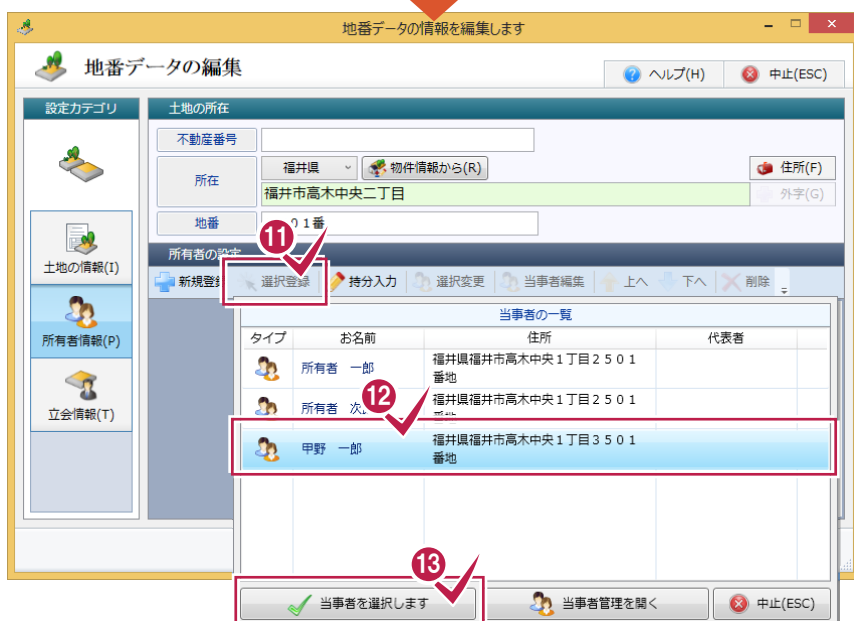


8 お名前、住所、電話番号などを入力します。

9 [設定された内容で登録を行います]をクリックします。



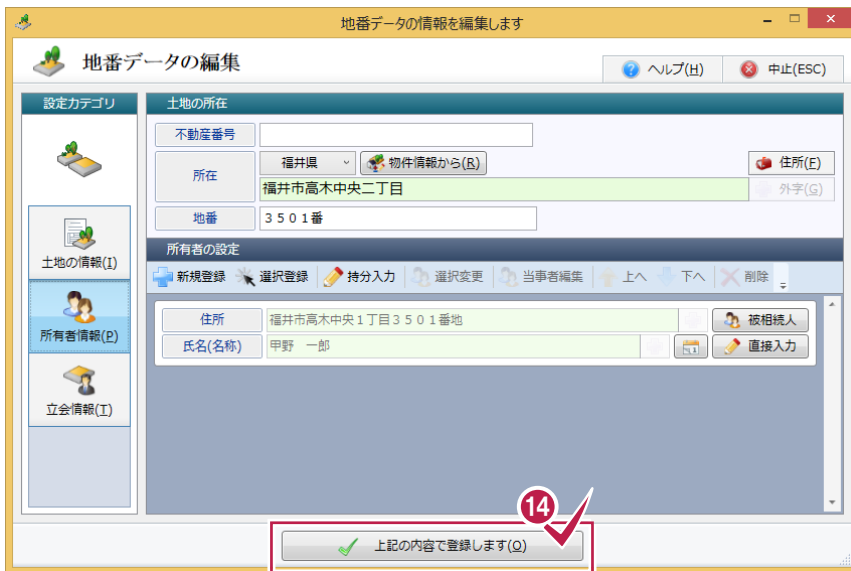
10 [終了]をクリックします。



11 [選択登録]をクリックします。

12 登録した「甲野一郎」を選択します。

13 [当事者を選択します]をクリックします。



14 [上記の内容で登録します]をクリックします。

## 3502番を編集する

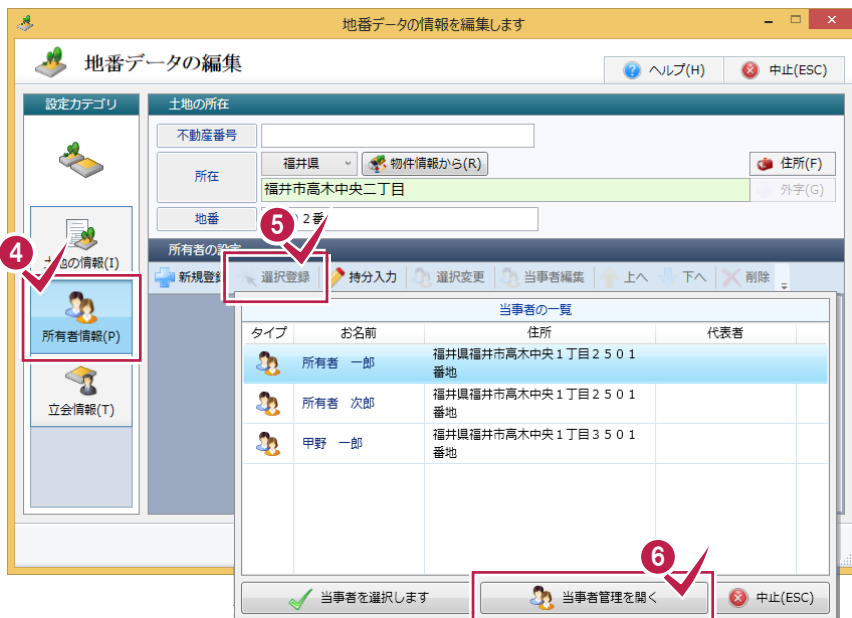


1 「3502番」を選択します

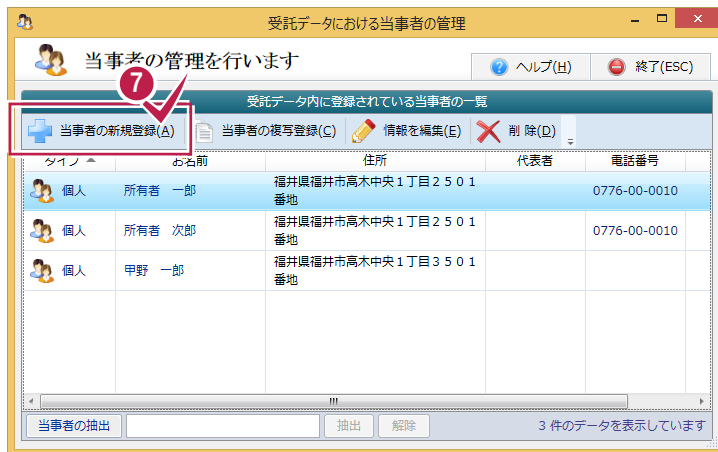
2 [情報編集]をクリックします。



3 土地の情報を編集します。



- 4 [所有者情報]をクリックします。
- 5 [選択登録]をクリックします。
- 6 [当事者管理を開く]をクリックします。



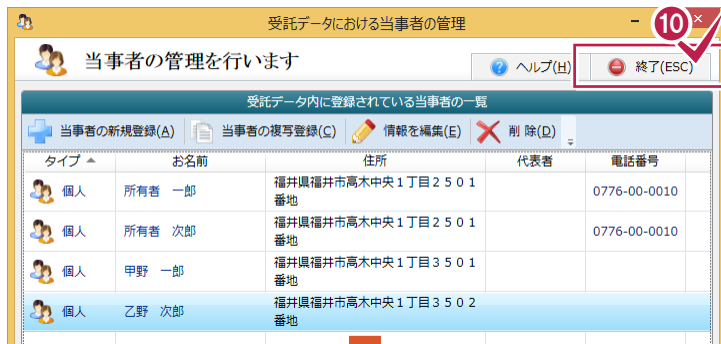
- 7 [当事者の新規登録]をクリックします。



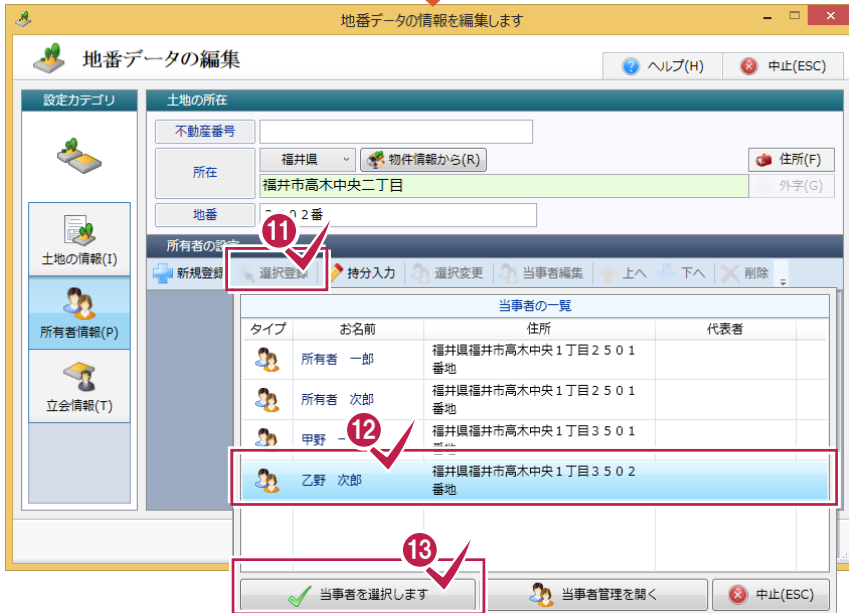
- 8 お名前、住所、電話番号などを入力します。
- 9 [設定された内容で登録を行います]をクリックします。







10 [終了]をクリックします。



11 [選択登録]をクリックします。

12 登録した「乙野次郎」を選択します。

13 [当事者を選択します]をクリックします。



14 [上記の内容で登録します]をクリックします。



15 [終了]をクリックします。

# 5 調査素図の取り込み

## 5-1 調査素図を取り込む

BLUETREND XA の現場で作成した調査素図を取り込みます。  
本書では、BLUETREND XA の現場で作成した調査素図 (EMFファイル) を取り込みます。



1 [写真管理]をクリックします。



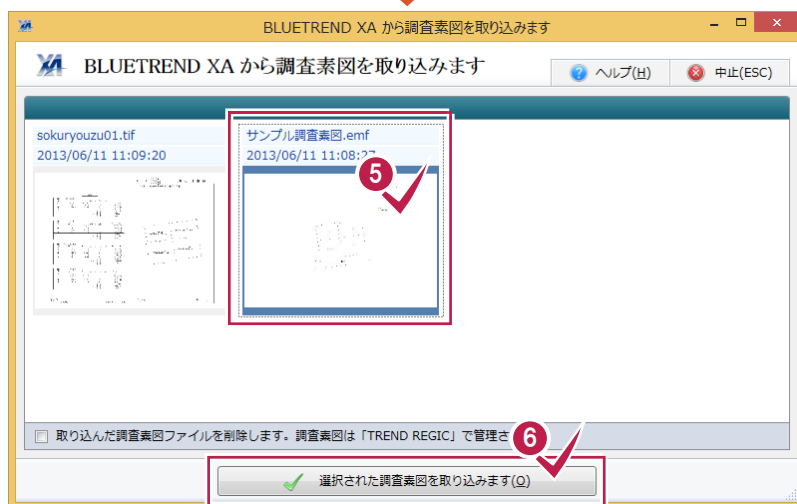
2 分類ツリーで[調査素図]を選択します。

3 [ファイル取込]をクリックします。

4 [BLUETREND XA]をクリックします。

5 取り込む調査素図を選択します。

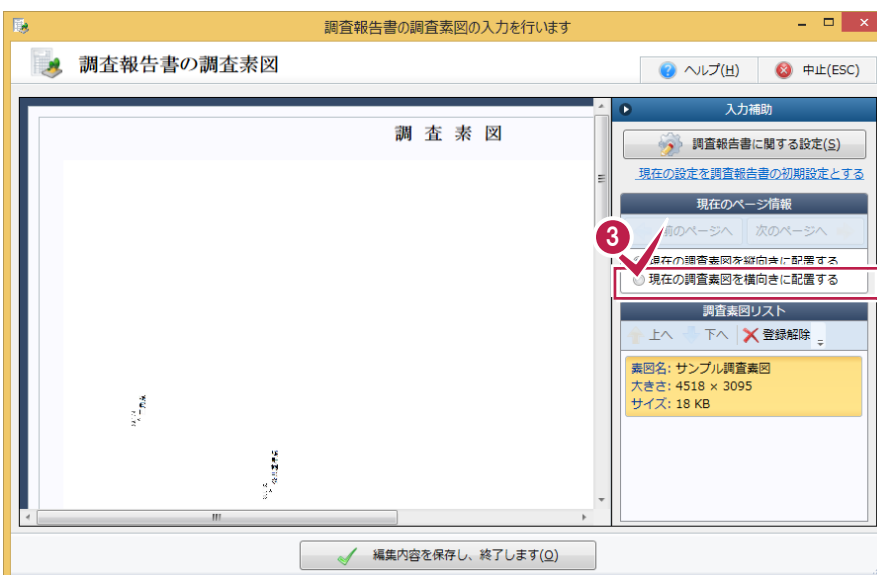
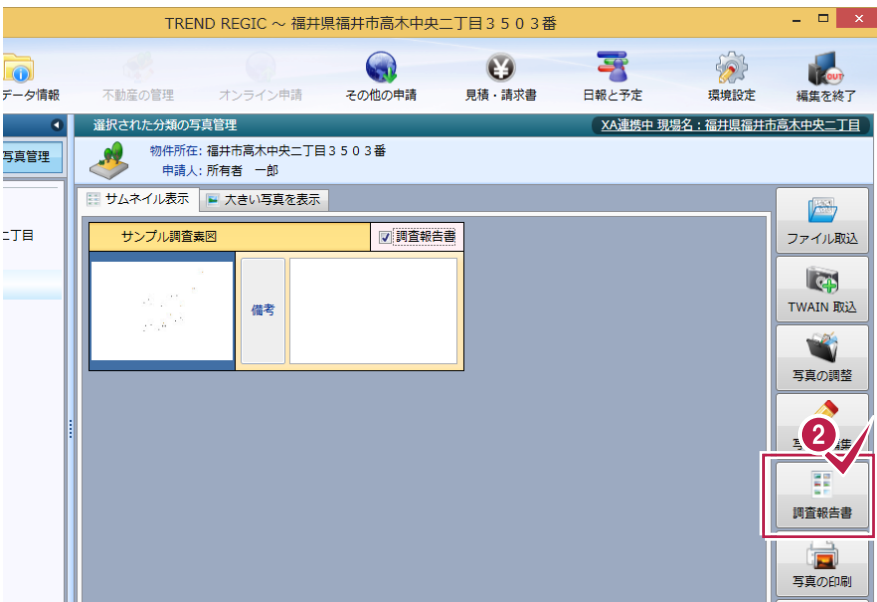
6 [選択された調査素図を取り込みます]をクリックします。



## 5-2

# 調査報告書の調査素図を入力する

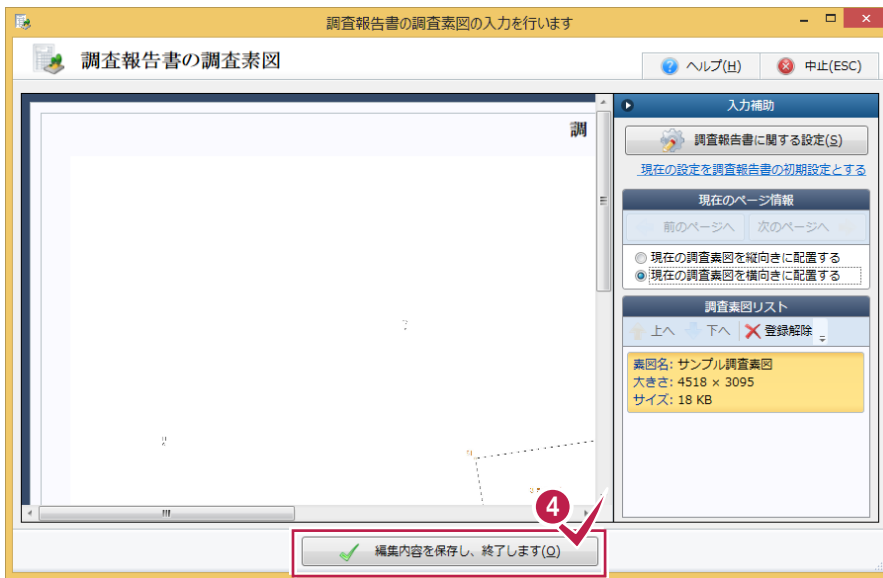
調査報告書の調査素図を入力します。



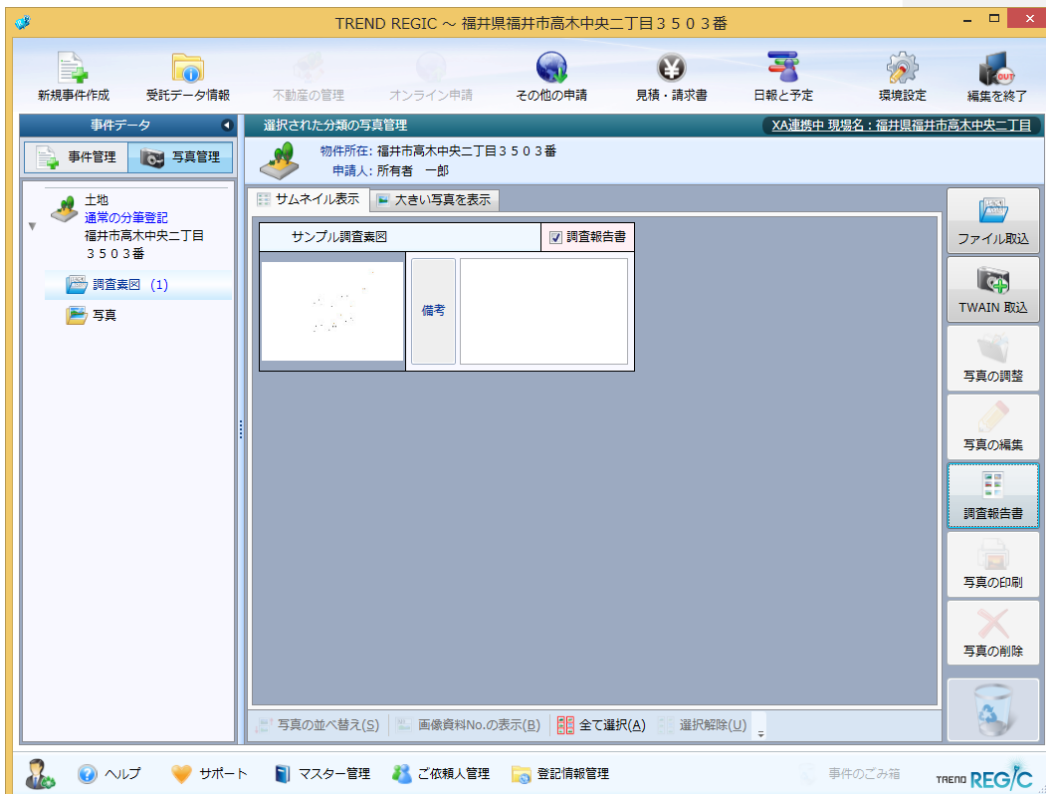
1 [調査報告書]のチェックをクリックしてオンにします。

2 [調査報告書]をクリックします。

3 [現在の調査素図を横向きに配置する]をクリックします。



4 [編集内容を保存し、終了します]をクリックします。

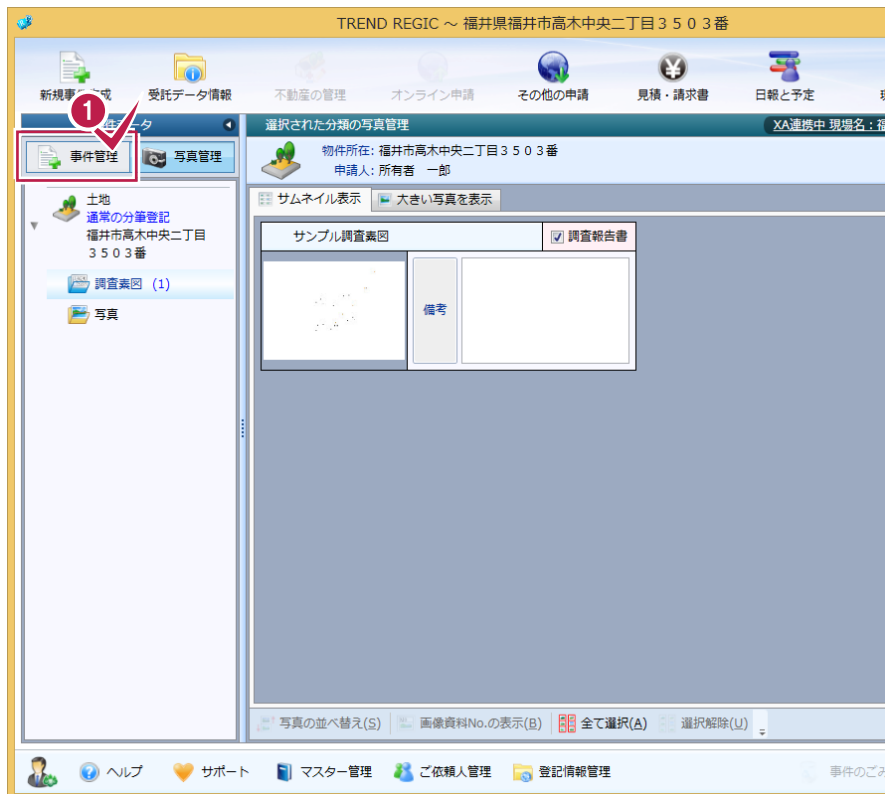


# 6 測量情報の取り込み

BLUETREND XA の現場で出力した調査報告書用データを取り込みます。

## 6-1 調査報告書を開く

写真管理を終了して、調査報告書を開きます。



1 [事件管理]をクリックします。



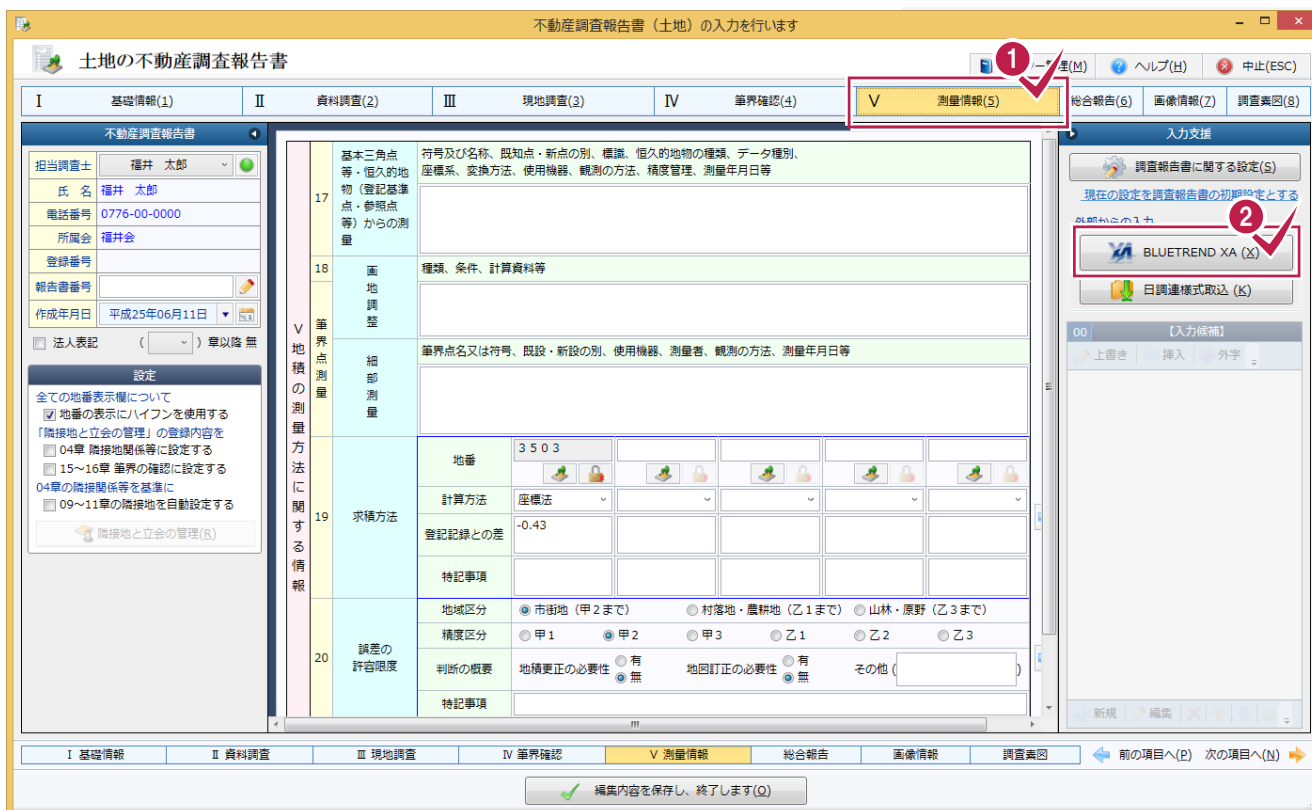
2 [調査報告書]をクリックします。

## 6-2 測量情報を入力する

地積の測量方法に関する情報を入力します。

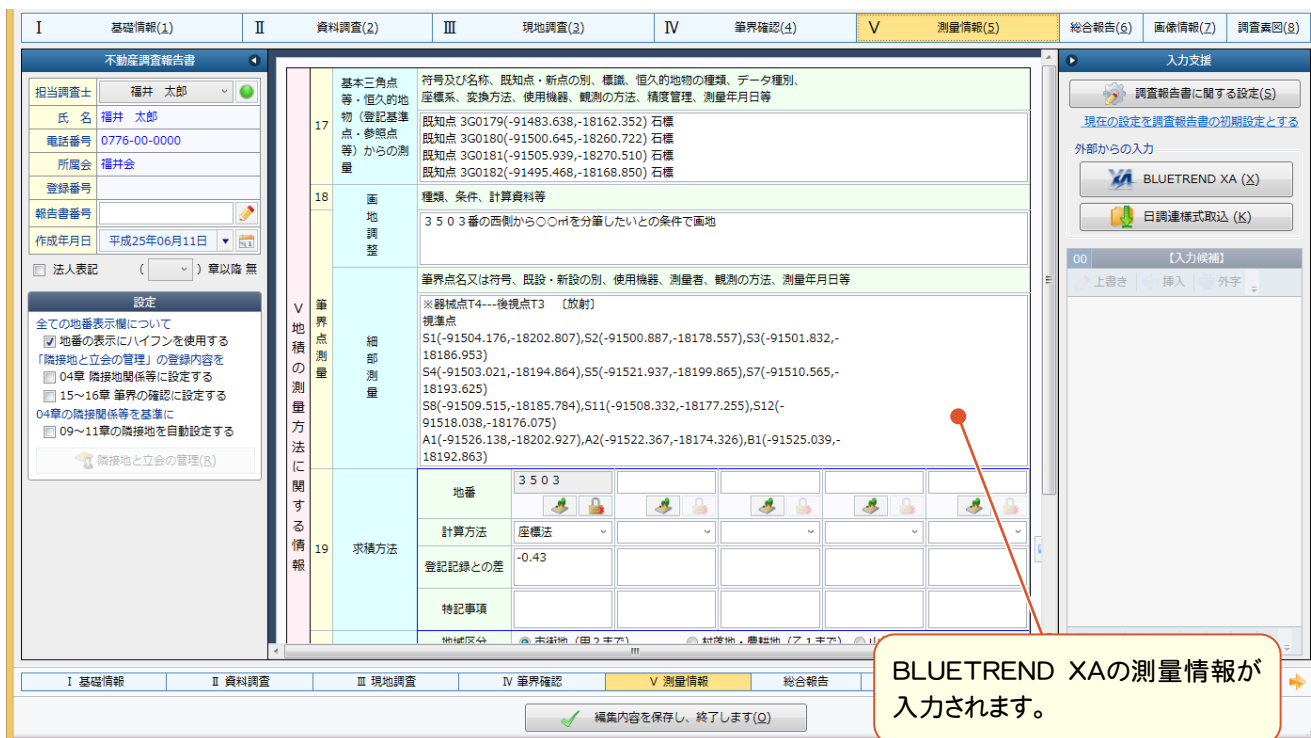
### BLUETREND XA から測量情報を取り込む

入力例では、BLUETREND XA から測量情報を取り込む操作を解説します。  
ここで取り込めるのは、TRENDREGICに接続されているBLUETREND XAの現場で、  
[ファイル]-[データ書込み]-[調査報告書用データ]を実行して書き込んだデータです。



- 1 [測量情報(5)]をクリックします。
- 2 [BLUETREND XA]をクリックします。
- 3 読み込むデータを選択します。
- 4 [選択した情報を取り込みます]をクリックします。

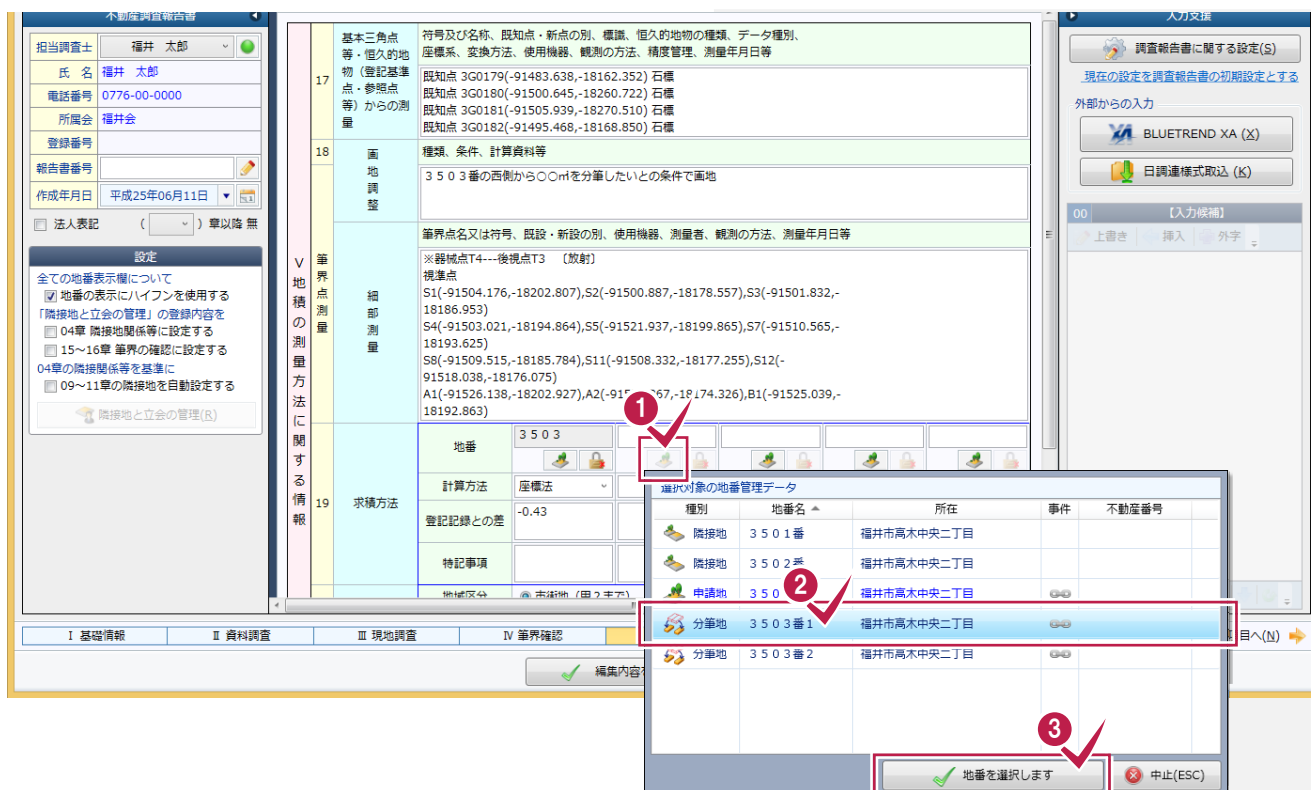




## 地番データから求積方法を入力する

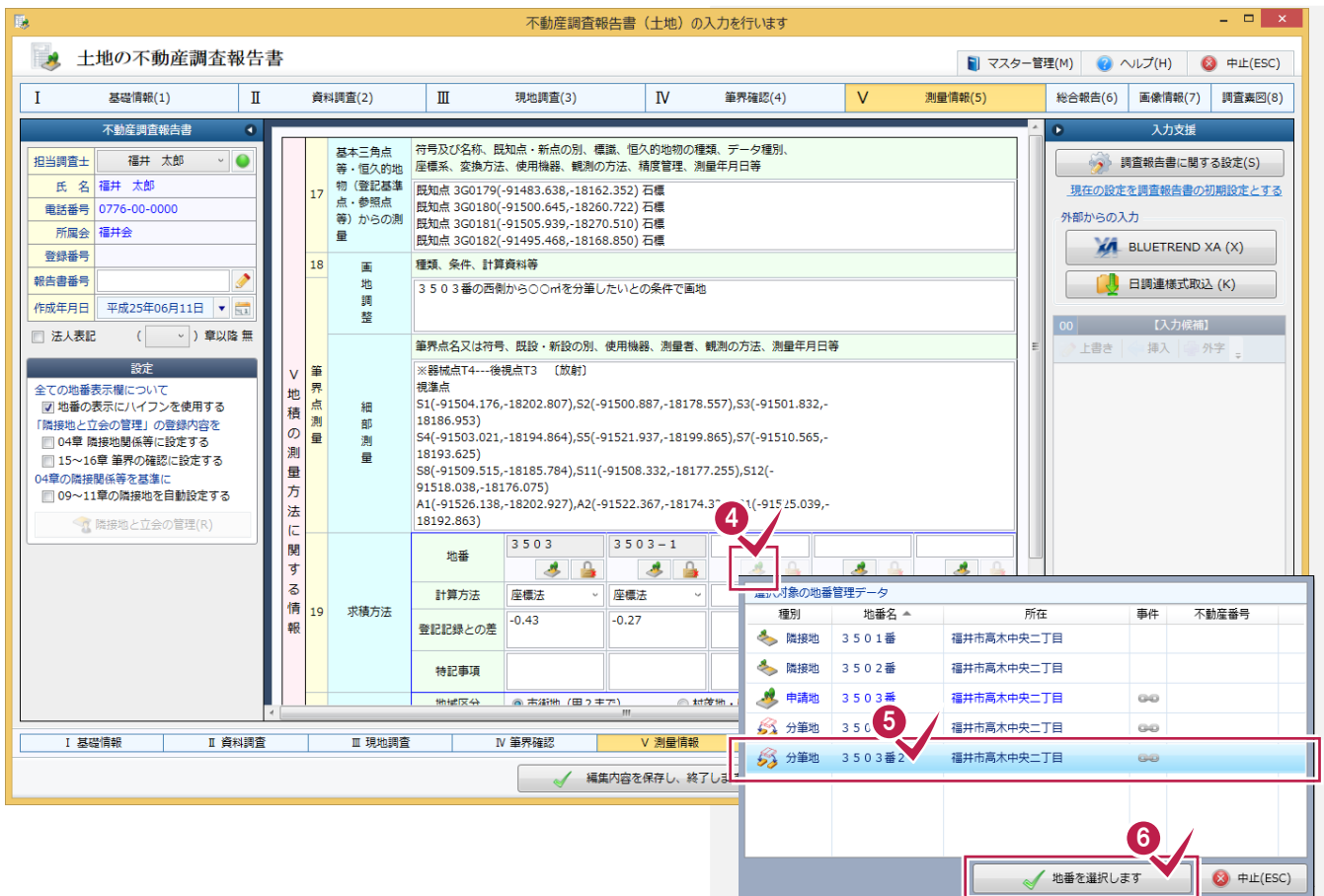
入力例では、地番データから求積方法を入力する操作を解説します。

入力例では、元地番の求積方法は自動で入力されているので、分筆後の地番を入力する例で解説します。



- 1 2つ目の地番の をクリックします。
- 2 地番データ一覧で「3503番1」をクリックします。
- 3 「地番を選択します」をクリックします。





4 3つ目の地番の をクリックします。

5 地番データ一覧で「3503番2」をクリックします。

6 [地番を選択します]をクリックします。



## 誤差の許容限度を入力する

誤差の許容限度を入力します。

土地の不動産調査報告書

不動産調査報告書 (土地) の入力を行います

マスター管理(M) ヘルプ(H) 中止(ESC)

I 基礎情報(1) II 資料調査(2) III 現地調査(3) IV 筆界確認(4) V 測量情報(5) 総合報告(6) 画像情報(7) 調査表図(8)

不動産調査報告書

担当調査士 福井 太郎

氏名 福井 太郎  
電話番号 0776-00-0000  
所属会 福井会  
登録番号  
報告書番号  
作成年月日 平成25年06月11日

法人表記 ( ) 章以降 無

設定

全ての地番表示欄について  
 地番の表示にハイフンを使用する  
「隣接地と立会の管理」の登録内容を  
 04章 隣接地関係等に設定する  
 15~16章 筆界の確認に設定する  
04章の隣接地関係を基準に  
 09~11章の隣接地を自動設定する

隣接地と立会の管理(S)

測量情報

筆界点名又は符号、既設・新設の別、使用機器、測量者、観測の方法、測量年月日等

※器械点T4---後視点T3 (放射)

視準点  
S1(-91504.176,-18202.807),S2(-91500.887,-18178.557),S3(-91501.832,-18186.953)  
S4(-91503.021,-18194.864),S5(-91521.937,-18199.865),S7(-91510.565,-18193.625)  
S8(-91509.515,-18185.784),S11(-91508.332,-18177.255),S12(-91518.038,-18176.075)  
A1(-91526.138,-18202.927),A2(-91522.367,-18174.326),B1(-91525.039,-18192.863)

地番	3 5 0 3	3 5 0 3 - 1	3 5 0 3 - 2		
計算方法	座標法	座標法	座標法		
登記記録との差	-0.43	-0.27	0.27		
特記事項					

19 求積方法

地域区分  市街地 (甲2まで)  村落地・農耕地 (乙1まで)  山林・原野 (乙3まで)

精度区分  甲1  甲2  甲3  乙1  乙2  乙3

判断の概要 地積更正の必要性  有  無 地図訂正の必要性  有  無 その他 ( )

20 誤差の許容限度

特記事項

報告事項

2 編集内容を保存し、終了します(O)

1 誤差の許容限度を入力します。

2 入力を終了したら[編集内容を保存し、終了します]をクリックします。